



令和8年9月8日(火)



弘前市長 定例記者会見



【話題提供】

- 「トキ」の適期収穫・厳選出荷について
- まちなかのにぎわいイベントについて
- ひろさきMaaSについて
- 「今冬の雪対策」について

黄色りんごの主力品種

『トキ』

の適期収穫・厳選出荷について

生産者の皆様へ

- ☉ 色づきや食味を確認
- ☉ 熟度を見極めて適期に収穫
- ☉ 収穫後は丁寧に取り扱い、品質保持

出荷・流通関係者の皆様

- ☉ 収穫後の厳選出荷
- ☉ 計画的な出荷で鮮度と信頼を確保
- ☉ 規格・品質を守り、産地の評価向上へ





まちなかのにぎわいイベント

『第2回かじまちまつり』

開催日：9月12日（土）

内 容

- ・ 盆ダンス
- ・ のど自慢カラオケ大会
- ・ ステージアトラクション
- ・ うまいもの市

「エリア価値」の向上をイベントとして実験的に提供してみる

ひろさき『まちなかピクニック』2026

2026.9.19~20

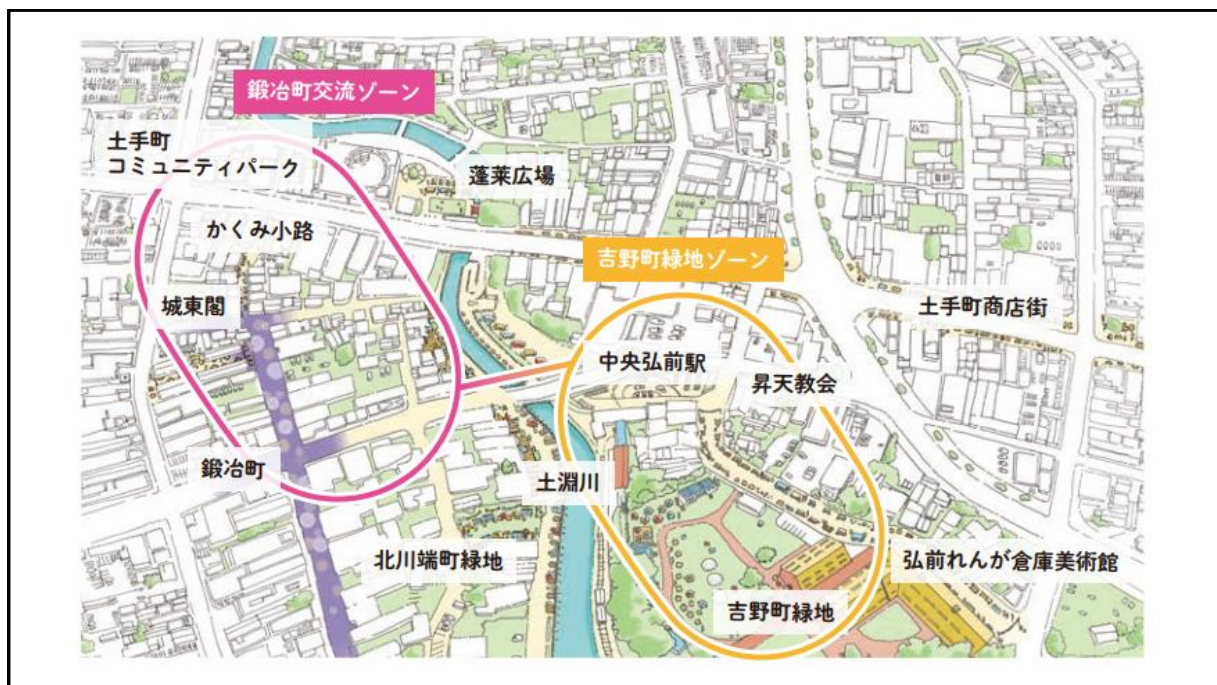
ひろさき
まちなかピクニック
HIROSAKI MACHINAKA PICNIC 2026

9.19 SAT・20 SUN
11:00→19:00

なにもしないも気持ちいい。

日なたも灯りも、気ままなピクニック。





昨年のまちなかピクニックの様子





ひろさき
MaaS

令和8年度「ひろさきMaaS」について ～公共交通のサブスク～

今年度の主な改善ポイント



1 日定額乗り放題サービスの新設

乗降時の認証変更（ボタンタップ方式へ）

実施期間の拡大

住所要件の撤廃

令和 8 年度ひろさきMaaS事業概要



弘南バス・弘南鉄道・乗合タクシーが住所不問で 定額乗り放題！

サービス
提供期間

2026年 **10月1日** から 2027年 **3月31日** まで

月額プラン



月定額乗り放題

9,000 (税込)
円/月

1か月間、何度でも乗り放題

【中学生以上65歳未満の方限定】

1日プラン



1 日定額乗り放題

(※当日のみ購入可能)

1,250 (税込)
円/日

1日中、何度でも乗り放題

【どなたでも利用可】



月額プランは **9月18日（金）** 10時から先着順でチケット販売開始！

今冬の雪対策について

道路除排雪・福祉除雪・農道除雪
1 2の主な新規取組等



新時代の扉を開く4つの鍵 ～市政運営の基本姿勢～



対話

市民の声に耳を傾け、
対話を重ねて市政を推
進します



挑戦

前例にとらわれず、新
しい可能性に果敢に挑
戦します



迅速

意思決定と行動をス
ピードアップし、課題
に迅速に対応します



結集

市民・企業・行政が一
体となり、地域全体の
力を結集します

4つの鍵のもと市民・企業・行政が一体となりオール弘前で進める雪対策

対話

新規 01 「弘前市ゆき対策市民会議」による対話



迅速

- 拡充 06 「除雪オペレーション」の強化
- 拡充 07 「道路除排雪工区の見直し」による最適化
- 拡充 08 豪雪時等における「通学路対策」の強化
- 拡充 09 「幹線農道除雪」の強化

挑戦

- 新規 02 「市民の命を守る除排雪対策」による強化
- 新規 03 AIを活用した「道路状況監視」の強化
- 新規 04 県との連携「交換除雪」による最適化
- 新規 05 早期の排雪作業を実施するための「除排雪業者へのマッチング」



結集

- 拡充 10 「市民との協働による雪対策」の強化
- 拡充 11 「福祉除雪」への支援強化
- 拡充 12 「農道除雪報奨金」の支援強化

対話

新規

01 「弘前市ゆき対策市民会議」による対話



弘前市ゆき対策市民会議

市民・企業・関係団体とともに、持続可能な雪対策を推進

対話

弘前市ゆき対策専門会議

専門分野による次世代を見据えた
継続性の高い雪対策のあり方を深化



市民団体



各団体



有識者



行政

弘前市ゆき対策地域会議

地域に赴き、課題やニーズを把握・解決



町会・地域住民



事業者・オペレーター



行政

効果



- ・課題の整理分析、共有
- ・持続性の高い雪対策の提案、検討



- ・地域の声を直接反映
- ・改善案の提案、共有
- ・解決に向けた取組

挑戦

新規

02 「市民の命を守る除排雪対策」による強化



交通障害の発生を抑制する予防的対応

急激な路面状況の悪化等への対応

寒波到来前

寒波等による路面状況悪化時

急激な路面状況の悪化等による交通障害発生時

① 予防的排雪（新規）

気象予報を活用した作業計画

▶ 気象予報を活用し、寒波到来前に救急告示医療機関や消防署の前、バス路線などの交通量が多い主要な幹線道路等について予防的な排雪作業を計画



予防的排雪

▶ 予防的に排雪作業を実施



② 弾力的な除排雪

弾力的除雪

▶ 一般除雪の出動基準に満たない場合でも、気象予報を踏まえ弾力的に出動



緊急拡幅

▶ 路面状況等を踏まえ、必要に応じて緊急拡幅作業を実施



③ 市民の命を守る除排雪（新規）

通行止めによる集中除排雪

▶ 豪雪や集中降雪により交通渋滞が発生・拡大するおそれがある場合は、昼夜を問わず通行止めによる除排雪を実施



【実施フロー】

① 事前準備（冬期前）



実施予定路線の選定・周知

② 豪雪による交通障害



市民への事前通知

③ 作業実施



昼夜を問わず通行止めによる集中的な除排雪作業

効果



先手対応によるリスク低減



交通障害の発生抑制



道路機能の早期確保



市民の命を守る非常時への備え

挑戦

新規

03 A I を活用した「道路状況監視」の強化



▶ 県及び防災科学研究所との連携による「A I 路面判定システム」を活用した道路状況監視

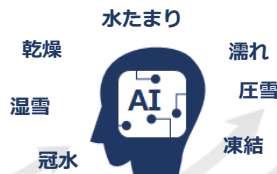
データの取得

スマートフォンを車載し、路面状況を連続撮影



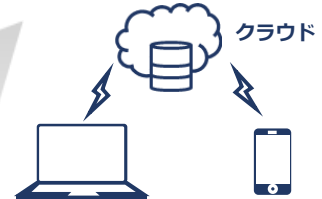
路線バス、道路パトローラーなどに搭載

A I による解析・判断



・ 路面状況を A I が解析
・ 判定結果をクラウドへ転送

情報の共有



リアルタイムで情報共有が可能

効果



パトロール体制の強化



リアルタイムで路面状況の監視と共有



状況に応じた優先順位付けと迅速な対応

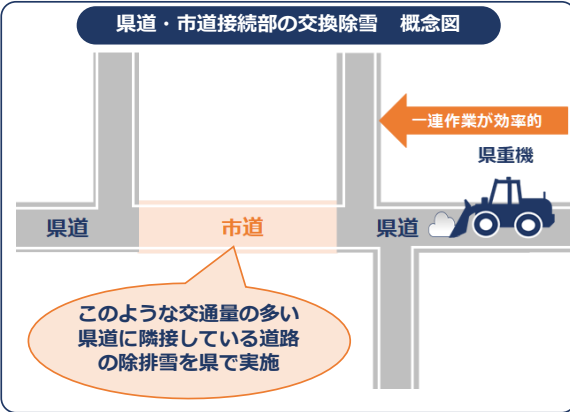
挑戦

新規

04 県との連携「交換除雪」による最適化



県との連携による「交換除雪」の実施



効果



除雪作業の
迅速化



相互の負担軽減



作業の連続性の
確保による最適化

挑戦

新規

05 早期の排雪作業を実施するための「除排雪業者へのマッチング」



これまで以上に早期の排雪を行うため、市が事業者や運搬車両を道路除排雪工区を越えてマッチングする仕組みを構築

課題

豪雪時や連続降雪により排雪需要が集中した場合において、作業班やダンプトラックの確保が困難に

① 作業班不足

複数工区を受注している受注者などにおいて、排雪時期が重なり作業が遅延



② ダンプ不足

複数工区で排雪時期が重なり、早期に排雪作業を行うためのダンプの確保・手配が困難



作業班が不足している場合

工区を越えて対応可能な事業者をマッチング



ダンプトラックが不足している場合

市直営除雪隊で借り上げているダンプトラックをマッチング



効果



早期の排雪作業
工区を越えた作業支援により、作業の遅れを抑制



安定的な除排雪対応
限られた除雪力を有効活用し、市全体で安定的に対応

迅速
拡充

06 「除雪オペレーション」の強化

弘前市
Hirosaki City

①市直営除雪体制の強化

直営除雪隊の増員



効果

- ・作業の迅速化
- ・対応力の向上



幹線農道除雪の
早期実施にも寄与

②市パトロール班の増加

現行

7班体制



増加後

8班体制



効果

市民要望への
迅速丁寧な対応



除排雪品質の
確認や指示の向上

迅速
拡充

07 「道路除排雪工区の見直し」による最適化

弘前市
Hirosaki City

▶降雪量などに違いのある一部の道路除排雪工区を分割し**一般除雪を最適化**

これまで

工区内の降雪量に差があっても工区単位の一般除雪出動
判断により出動

→**出動基準に達しない地域も含まれ非効率**



見直し後

降雪量の異なる一部工区を分割し、きめ細かい 出動判
断により最適化を図る

→**工区を分割（20工区から22工区）し、それぞ
れの判断により除雪出動**



効果



きめ細かく効率的
な出動判断による
除雪出動



一般除雪の最適化

迅速

拡充

08 豪雪時等における「通学路対策」の強化

弘前市
Hirosaki City

①通学路の排雪・拡幅作業の強化

▶昨冬の始業式対応を踏まえ、通学路の排雪・拡幅を強化

昨冬の課題

豪雪等により、一部の学校周辺の通学路において始業式までの作業に遅れが生じた



拡充・強化

豪雪時や連続降雪時においても、通学路の確保を充実・強化し、**始業式までに完了**

②通学路に関するホットラインの整備

▶通学路の危険箇所について、道路管理者と学校との間で**ホットライン**を整備

効果

子供たちの
安全確保迅速な情報
共有と対応連携強化による
対応力の向上

迅速

拡充

09 「幹線農道除雪」の強化

弘前市
Hirosaki City

- ① 積雪状況を注視し、**豪雪対策本部**の設置にかかわらず、これまで以上に**早期**に着手
- ② **12月下旬**から順次対応し、**年2回**の除雪を基本とする
- ③ 今冬より新たに幹線農道除雪予定日を**市公式LINE**で通知

2回除雪のイメージ

積雪増加

第1回除雪
(12月下旬～)

積雪増加

第2回除雪
(再度実施)

効果

幹線農道の
早期開通りんご生産者
による枝線農道
除雪の早期着手雪害対策・せん定
作業期間の確保

結集
拡充

10 「市民との協働による雪対策」の強化

弘前市
Hirosaki City

① 地域で利用できる雪置き場の設置

空き地を地域の雪置き場として活用

・不動産協会
・宅地建物取引業協会

協定締結

弘前市

地域の雪置き場として活用

 空き地

固定資産税等の減免

対象面積に応じて、道路除排雪の雪置き場としての活用も検討

② 協働による地域除雪の強化

① 町会や企業が行う「地域除排雪活動支援事業」の対象機械を拡充

除雪機械（既存）

小型除雪機 大型除雪機等

+

【新たに追加】

 排雪用ダンプトラック

② 「町会等除雪報償金」等の報償金を増額

町会等が行う各種報償金額の増額見直し

効果

地域に密着した
きめ細かい雪対策の推進

持続可能な協働
による雪対策の推進

結集
拡充

11 「福祉除雪」への支援強化

弘前市
Hirosaki City

▶ 除雪困難者に対する福祉除雪である「除雪支援事業」の拡充

事業名称

弘前市社会福祉協議会除雪支援事業費補助金

事業主体

社会福祉法人 弘前市社会福祉協議会

事業への市の補助率

全体
事業費

補助率
1/3
(これまで)

→

補助率
1/2
(拡充後)

現状と課題

- 高齢化、核家族化の進行
- 雪処理の担い手不足
- 地域のつながりの希薄化
- 除雪資機材の高騰

除雪ボランティア
→ 減少傾向

除雪ボランティアの報奨金

これまで

4,000円

(1世帯あたり)

➡

拡充後

5,000円

(1世帯あたり)

効果

持続可能な除雪困難者支援体制の維持

結集

拡充

12 「農道除雪報奨金」の支援強化

弘前市
Hirosaki City

農道除雪報奨金の拡充

① 報奨金額の拡充

これまで

13,000円/km

拡充後

14,000円/km

② 交付上限回数の拡充

これまで

交付上限回数

4回

拡充後

交付上限回数

8回

農道除雪報奨金とは？

りんご生産者等が自主的に実施する農道枝線の除雪作業に対して、距離に応じた報奨金を交付する制度



効果



りんご生産者による除雪作業の促進



・雪害被害の軽減
・せん定作業の早期着手

市民・企業・行政が力を合わせ、
「オール弘前」で雪に立ち向かう



対話

市民の声に耳を傾け、対話を重ねて市政を推進します



迅速

意思決定と行動をスピードアップし、課題に迅速に対応します



挑戦

前例にとらわれず、新しい可能性に果敢に挑戦します



結集

市民・企業・行政が一体となり、地域全体の力を結集します

今冬の
雪対策

